

生徒指導規程

三原市立久井小学校

I 目的

この規程は、学校教育目標を達成するためのものです。児童の健全育成を目的としており、児童が自主的自律的に充実し、安全で安心な学校生活を送るという観点から、必要な事項を定めているものです。

II 学校生活に関すること

1 服装・頭髪についての指導

- (1) 服装は、学校で決められたものを着用しているか、定期的に服装・頭髪検査を実施します。
- (2) 違反がある場合は、その場で直させ、その場で直せない違反（頭髪等）は家庭連絡し、期日を定めて直させます。期日までに直さない場合は保護者に来校していただき指導します。直すまで特別な指導を行います。※特別な指導=別室指導。

2 通学についての指導

- (1) 交通ルールとマナーを守り、安全に留意した通学指導を行います。
- (2) 毎月、通学班で登下校について反省し、改善を図らせます。改善がみられないときは、個別指導を行ったり、保護者と連携したりしながら指導を続けます。

3 欠席、遅刻、早退についての指導

- (1) 始業の時点で欠席や遅刻の連絡がない場合は、保護者へ連絡し確認します。
- (2) 3日連続して遅刻、週に3回以上遅刻した場合は、家庭連絡を行います。
- (3) 欠席が続いたり遅刻等が改善されない場合は、保護者に来校していただき連携し指導に当たります。
- (4) 早退する場合は、保護者と連絡確認します。

4 授業についての指導

- (1) 学習規律を全校で統一し、基礎学力の充実を図ります。
- (2) 授業を妨げる行為（私語、暴言、立ち歩き、教室から出る等）があった場合は指導を行います。改善されない場合は、保護者に来校していただき指導します。また行為の内容によっては、特別な指導を行います。

5 持ち物についての指導

- (1) 持ち物については、「学校のきまり」の記載のとおりとします。
- (2) 不要物を持ってきた場合には、学校で預かり保護者へ返却します。不要物の持込が続く場合は、保護者に来校していただき指導します。
※不必要な物は持って来させないでください。トラブルの原因となります。
※学校が持ち物について確認が必要と判断した場合は、児童への事前連絡が無くても、ランドセル等の持ち物について点検をします。

6 携帯電話等についての指導

- (1) 携帯電話等情報機器の校内への持込は禁止とします。校内に持ち込んだ場合は、学校で預かり、保護者に来校していただき、指導した後、保護者に返却します。
※トラブル発生時について、携帯電話等の解約をお願いすることがあります。

7 給食・清掃についての指導

- (1) 役割を明確にし、責任を持って取り組ませます。
- (2) ルール、マナー等の向上を図るよう指導を行います。

Ⅲ 校外での生活に関すること（遊び・交通安全）

1 交通安全についての指導

- (1) 校外での安全を確保するために、交通安全指導や遊びに関する一斉指導を適時行います。改善を要する児童には保護者と連携し、個別の指導を行います。
- (2) 交通事故が発生した場合は、保護者と連絡を取り合い、関係機関と協力し、迅速に対応していきます。

2 校外での過ごし方について

- (1) 「学校のきまり」「休みの生活」に記載された内容を守らせ、健全育成を図ります。改善を要する場合には指導を行います。

Ⅳ 特別な指導に関すること

1 特別な指導を要する問題行動について

次の問題を起こした児童で、教育上必要と認められる場合は、特別な指導を行います。

- (1) 法令・法規に違反する行為
飲酒、喫煙、暴力、威圧、強要、器物等破損、窃盗、万引き、性に関するもの、薬物乱用、交通違反、危険物違反物所持、その他法令法規に違反する行為
- (2) 本校の「学校のきまり」「休みの生活」等に違反する行為
- (3) 指導に従わないなどの指導無視及び暴言などの行為
- (4) その他、学校が教育上指導を必要とすると判断した行為

2 対応について

保護者に来校していただき、状況の説明及び指導を行います。場合によっては、警察をはじめ関係機関と連携します。じっくり反省をさせるために一定期間の特別な指導を行います。指導の最後には、管理職の指導面接を受けます。

※一定期間の特別な指導とは、別室指導、振り返りの指導等を行います。期間については問題行動の内容や反省の様子によって決定していきます。

V その他

保護者の教職員への暴力行為、威圧行為については警察をはじめ関係機関と連携します。

(附則) この「児童指導規程」は、平成25年4月1日から施行する。